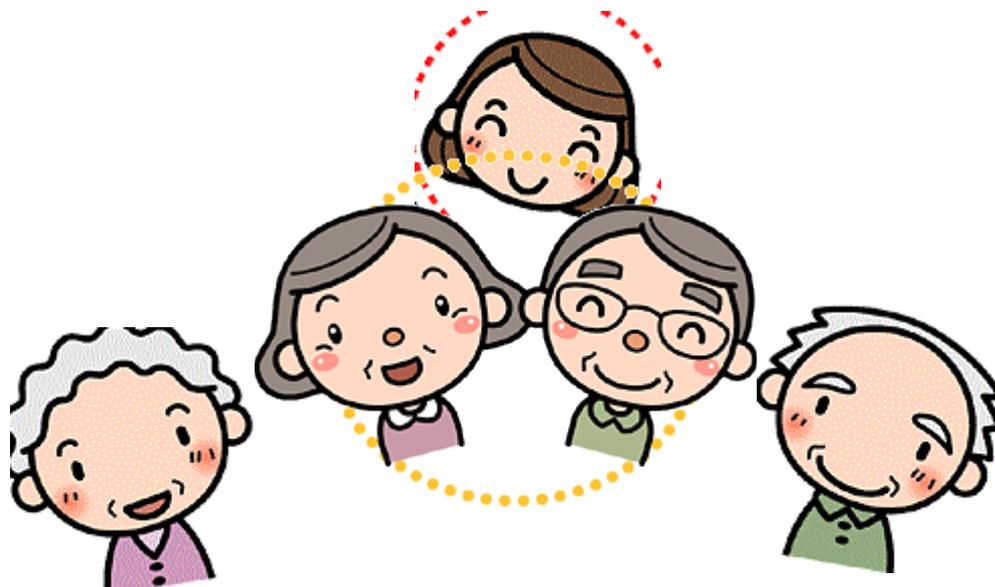


少額投資非課税制度 NISA(ニーサ)



2015年6月5日

ファイナンシャルプランナー (CFP)

小澤雅子



投資って？

投資信託

株式

債券

預金との違いは

元本保証ではありません。



大きく増えることもあります、大きく損することもあります。

少額って？非課税って どういうこと？



- **少額とは？**
1年間に100万円までの購入資金のこと

- **非課税とは？**
預金の税金は20.315%です。
株や投資信託の利益や配当などの税金も
20.315%。

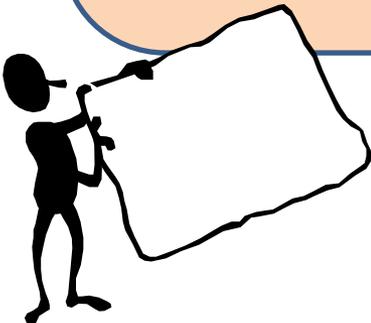
- **NISAは？**
その配当や分配金、売った時の利益が非課税に



制度について



- 専用の口座を一つだけ作れます。
- 20歳以上ならどなたでも。
- その口座には、5年間だけ。年に最大100万円まで新たに入金できます。
- そこからの利益(配当と譲渡益)は非課税です。



口座はどこで作るの？



- 口座は証券会社か銀行で作れます。
- 投資信託が買えるのは両方、株は証券会社だけ
- ただし、
- 購入時の手数料は、ばらばらです。
- 取り扱う投資信託も、ばらばらです。
- なにが買いたいのかをよく考えてから口座を作りましょう。
- 手数料が安いのは、ネット証券！

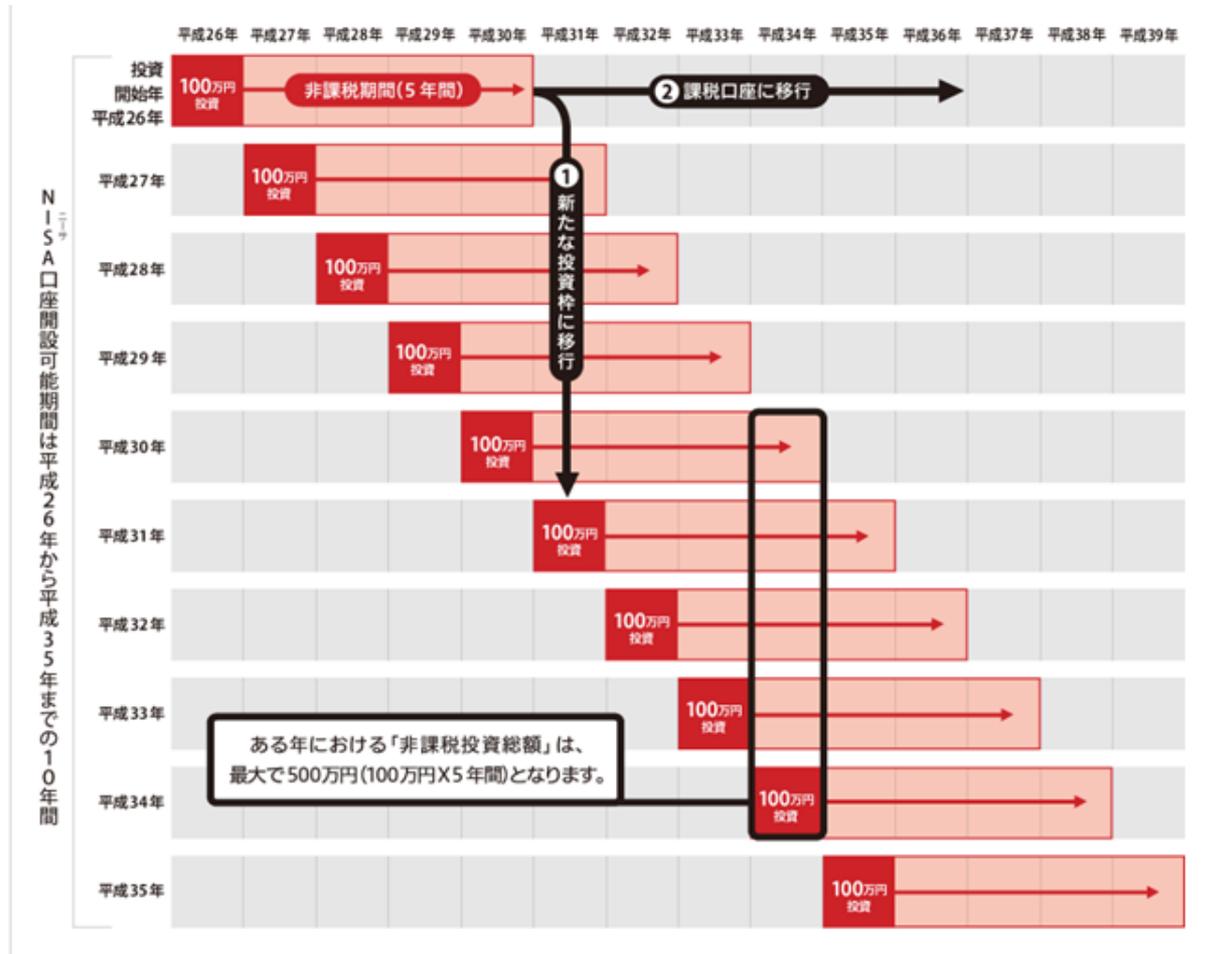


非課税限度額は？

- **1年で買えるお金が100万円まで。**
- **途中で売ってしまったら、非課税の枠は減ったままです。**
- **5年たったら、あと5年。非課税枠は預け替えて使えます。**
- **10年間非課税枠をフルに使える、長期投資をめざしましょう。**



10年間のお金の流れ



どれを選べばいいのかな？

投資信託

- 複数の株式や債券に分散投資
- 購入金額が指定できます
- 手数料がかかります
- 市場の株価連動型(インデックス)もあります

ETF

- * 株価などと連動した投資信託で株と同じように取引できて少額から始められます

株式

- * 配当利回りのいい業績のいい企業の株を。

いつ買えばいいのかな？

- 毎月すこしずつ購入して行くことで、値下りのリスクを分散できます。

- 手間がかからず毎月一定額購入できる積立という方法もあります。



好配当株に投資する

- **長期保有で定期預金代わりに配当金を受け取るという戦略です。NISAでは配当金が非課税になりますので20.315%の税金分もまるまる受け取れます。**

- **仮に4年後に値下がりにしていた場合でも、NISA口座にロールオーバーするか、特定口座に移す事で売却せずに継続保有が可能ですので、その後も継続して配当金を受け取る事ができます。**



REITに投資する

- 日本のREIT（J-REIT）は東京オリンピックも控えしばらくは安定した利益が得られる可能性が高いと考えられています。
- 世界各国にもものREITがあり、それらに投資する投資信託も比較的安定した収益を上げています。
- 4年間の保有期間中も定期的な家賃やテナント収入が得られ、保有期間中はそれらの収益を受け取れるのでREITは長期保有に向いていると言えます。



債権に投資する

- NISAでは国債等、直接債権を購入する事はできませんが、主に債券に投資する投資信託があります。
- ちなみに株に投資して10%値上がりした時点で売却するのと、年2%の利益で5年間保有するのと同じと言えます。
- 債権の利率より今後の物価上昇率が高い時は、リスクが少ない分リターンも少ないので注意が必要です。



投資した金融商品をいつ売却？

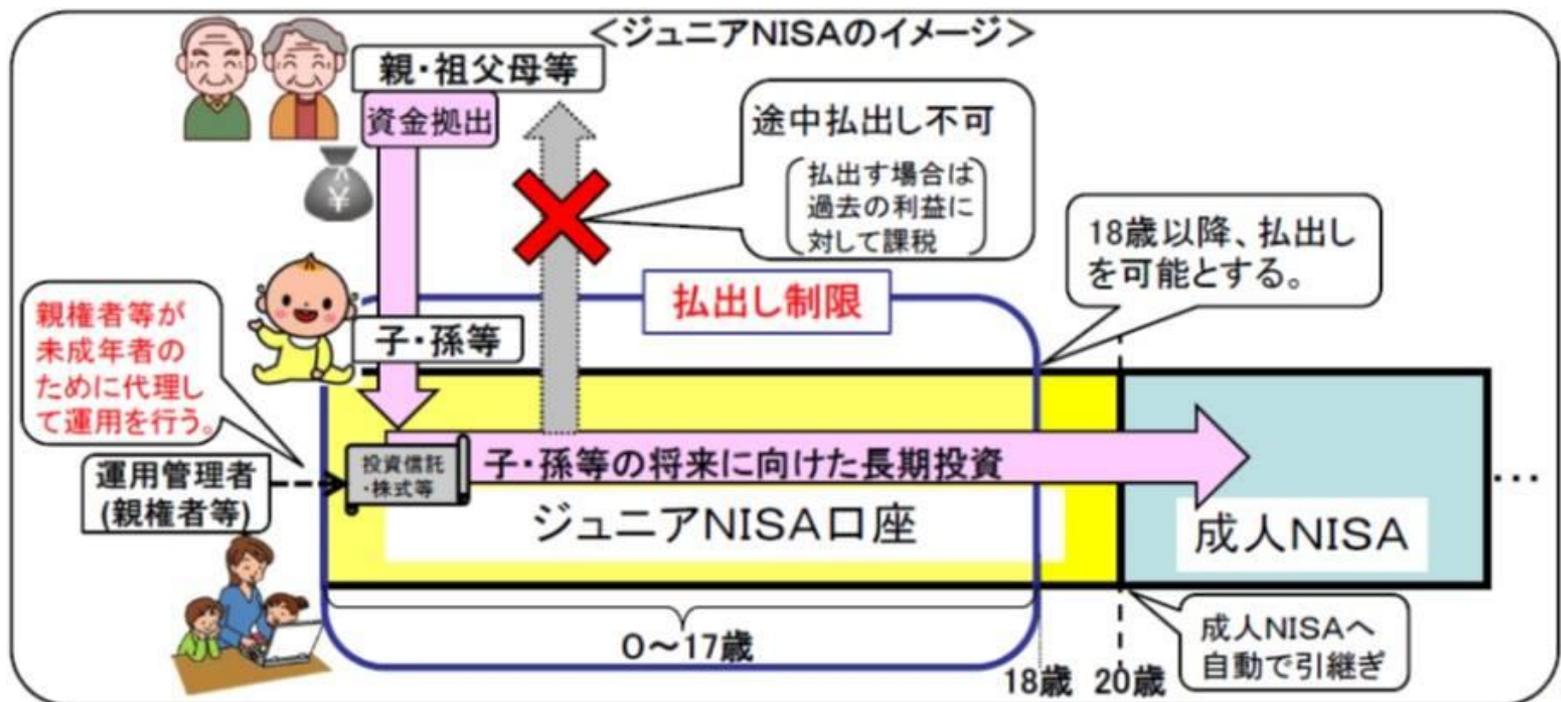
- 値上がりを狙ったなら目標額になった時、株主優待を得るなら権利確定した時、5年間配当を目的とするなら5年経過した時などが売却のタイミング

- 1. 目標額を決めその額に達したら売却する
 2. 数回に分割して売却する
 3. 最高値からある値まで値下がりしたら売却する
 4. 売却しない

- NISAでは売却した非課税枠は復活しません。

来年度からのジュニアNISA

子どものためのジュニアNISAは、20歳未満の方が対象です。
名義は子どもですが、実際の運用と管理は、親や祖父母となります。
ジュニアNISAは生前贈与と若年層への資産移転の意味が強く含まれているため、
18歳になるまで払い出しできません。





おわり